令和元年度(2019年度)第1回宗谷保健医療福祉圏域連携推進会議 議事録

日 時 令和元年(2019年)8月9日(金) 11:15~12:45

場 所 宗谷総合振興局 4階大会議室

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

議 題 1 北海道医療計画宗谷地域推進方針の進捗状況について

- 2 専門部会(在宅医療・歯科保健・難病対策)の開催報告について
- 3 地域医療構想の推進について

議事

(1) 議題1 北海道医療計画宗谷地域推進方針の進捗状況について ア 事務局(荒川課長・志子田課長)から資料1に基づき説明 (特記事項)なし

イ 質疑応答(有・無)

(2) 議題2 専門部会(在宅医療・歯科保健・難病対策)の開催報告について ア 事務局(荒川課長・永井歯科医師・志子田課長)から資料2-1~2-3に基づき説明 (特記事項)なし

イ 質疑応答(有・無)

(3) 議題3 地域医療構想の推進について

ア 事務局(其谷主幹)から資料3~資料5に基づき説明

(特記事項)

- ・地域医療構想の推進についての説明にあたり、荒川課長から参考資料に基づき、外来医療計画 及び医師確保計画の補足説明。
- ・資料4-4について、以下の意見を頂いた。

【意見】豊富町国民健康保険診療所

- 初期救急医療に関する外来医療の現状として、一次医療機関として地域で対応できることは地域で対応しており、対応できない場合は市立稚内病院に対応してもらっている。
- 在宅医療の提供状況に関する現状について、グループホーム3ユニット、27床への月2回の 訪問をおこなっており、冬季における在宅患者の訪問診療も行っている。

課題として、訪問診療をするにあたって、訪問する医師の午後からの診療を休診にしていること。

- (初期救急の確保についての今後の取組の方向性について) 医師の体制が変わりやすく、軽いけがや疾病でも稚内市に対応を求めることがあった。しかし、常勤医2名が揃ったことを受けて、自分の町で対応できることは自分の町で対応できるようにしたい。小手術や事業所などの健康診断の受け入れも増えてきており、こうした取り組みにも力を入れていきたい。
- (在宅医療の確保についての取組の方向性について)管内は訪問看護の事業展開ができていな

い地域である。このため、みなし指定から訪問看護事業の展開ができないかを検討している。

○ (医療機器の共同利用方針について)豊富国保については、80列のCTしかなく、心臓のCT は撮れない。よって、近隣市町村との共同利用を測るよりも、市立稚内病院にある専門的な機器で検査した方が良いと考える。

ただ、腰椎・脊椎のための牽引器を導入したので、この機器に関しては、リハビリ治療において共同利用できると考える。

【意見】北海道薬剤師会稚内支部

○ (在宅医療の提供状況について)市内の在宅相談件数は増えてきている。また、ケアマネからの相談件数も増加している。但し、チェーン展開の薬局では、在宅医療に消極的なところもあり、温度差がある。また、郡部では一人で経営する薬局が多いという現状がある。

課題として、郡部においては、一人経営が多いため高齢化や後継者不足で存続問題が懸念される。市部においては、在宅医療としてどこまで対応できるのかが不明。チェーン展開では売り上げ次第で薬剤師が減ることが挙げられる。

【意見】枝幸町国民健康保険病院

○ 常勤医が1名しかいないときに重篤な患者が搬送されてきた場合、救急車に常勤医が同乗し、 医者不在の状況になることがある。

よって、初期救急医療の確保には医師確保が必要と考える。従って、医師確保に向け、医育大 学や北海道地域財団、民間病院との連携を行って対応し、医者の確保を目指している。

【意見】枝幸町

○ 初期救急医療にしても、在宅医療にしても医師不在が問題と考える。

【意見】利尻島国保中央病院

- 常勤医3名の体制で行っているが、厳しい面があるため、初期救急医療の確保に向けてもう1 名の医師確保をしたい。
- 在宅医療の確保に向けて、週2回の往診(特別養護老人ホーム 週1回、個別対応 週1回) を実施している。
- (医療機器の共同利用について)利尻島内2か所の病院で、CTの共同利用を行っている。

【意見】市立稚内病院

○ (医療機器の共同利用について) どのように共同利用をするのか、どこの場所で共同利用する のか、どのような体制で行うのか等、医療機器の共同利用をするにはこれらの問題を乗り越える 必要がある。

【意見】枝幸町国民健康保険病院

(医療機器の共同利用について) 浜頓別町国民健康保険病院、中頓別町国民健康保険病院、音

威子府診療所からの CT や MRI の検査依頼がある。また、CT に関して 6 4 列から 2 5 6 列の入れ替えを行っている。この機器の共同利用を考えている。但し、放射線技師が多くないため、受け入れられる回数にも限度がある。この現状を踏まえ、南宗谷管内の病院と連携をすることで対応しようと考えている。

・資料5について、以下の意見を頂いた。

【意見】 市立稚内病院

○ (重点課題について)地域医療構想の中の役割を果たしていきたい。

【意見】 浜頓別町

○ (重点課題について) あらゆることが重点課題で優先順位は付けられない。

【意見】 中頓別町

○ (重点課題について) どれも重点課題であるため、どれが重点課題とはいえない

【意見】 枝幸町国民健康保険病院

○ (重点課題について) どれも重点課題である。特に、ICT ネットワークにおける「ポラリスネットワーク」の転送速度が遅くなってきている。更新時期ではないか。補助金、補助制度で更新していただけると助かる。

イ 質疑応答(有・無)

(3) その他

○ 事務局から、次回の開催予定が9月下旬から10月上旬の予定である旨、説明。

以上